

## 2012年9月4日開催 第571回 番組審議会

### ■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員  
佐藤卓己委員 佐藤友美子委員 東野博昭委員 若菜英晴委員

### ■ 毎日放送出席者

河内社長 松島専務 榎本常務 豊田取締役 河村取締役 梅本取締役 東取締役  
立野コンプライアンス室長

### ◆ 審議事項

「全国ネット番組」について意見を交換した。

### 各委員の主な意見は次の通り。

- ・「はなまるマーケット」も新しさを取り入れていくと、魅力のある番組になるのではないかと。
- ・「黒の女教師」を見て、教師にあこがれる人がいるだろうか。ドラマは、若者に何か夢を与えるものであってほしい。
- ・ある意味で壁紙のようにテレビを見ているところもあるので、濃過ぎない情報の出し方、特に朝はそういうものが欲しい。
- ・若い人がバラエティーを見なくなっているのは、芸人さんたちの使い方も関係があるのではないかと。
- ・全国ネットは、情報をどう伝えるかというときに、自分たち東京の視点だけで伝えているんじゃないかと。
- ・みのもんだショーのテイストがより強くなってきて、わがままっぷりが伝わる。段取りぐらいちゃんと打ち合わせしとけばいいのと思うことがあり、何か手抜き感を感じる。
- ・「情熱大陸」は、番組の名前もあるし、地味な人たちを扱ってこそ意味があるのではないかと、刺激を与えてくれる人選を望む。
- ・政治ネタや経済ネタをしっかり扱ってくれる「朝ズバツ！」にチャンネルを回していることが多い。他に見る番組がないから見ているが、これは夜の報道番組についても言えること。
- ・「ビギナーズ」でもそうだが、特定の男性タレントの事務所のアイドルを無理に使われているような印象すら受ける。
- ・「浪速少年探偵団」は、関西弁にときどきすごい違和感がある。でもだんだん違和感がちょっと楽しみで見ている部分がある。
- ・「情報7days」、これは安住さんのキャラクターが非常に大きい。非常に温かみがあり、まるやかというか、見ていて安心できる。「サンデーモーニング」の関口さんも同じで、多分それが「朝ズバツ！」のみのもんだとの違い、押しつけがましさが無い。

- ・三雲さんがコメンテーターをやっているが、アナウンサーであり、キャスターであり、伝える仕事をしてきた人がコメントする配役は、違和感を覚える。伝える人とコメントをする人と分けてほしい。
- ・「黒の女教師」は、PTA辺りから文句を言ってきたような内容ではあるが、このぐらいの刺激があっても、素直に楽しめた。強い先生や、ヒーローなどを望む世の中の空気が反映されていると思う。また、俳優の意外な一面を引き出すようなおもしろいドラマをぜひつくってほしい。
- ・「サンデーモーニング」は、1週間の動きや、今問題になっていること、知っておいたほうがいいと思われることがコンパクトにまとまっていて、とてもわかりやすい番組。「風をよむ」は、切り口がおとなし過ぎる。もう少し切り込んだり、突っ込んだりがあったほうがいいと思う。
- ・張本さんのバランスを欠く発言が目立ってしまう場面が最近増えてきて、ちょっと危惧する。
- ・「報道特集」は、かける時間の長さの問題を多方面から掘り下げるのに成功している。金平さんは、一言で言うと動くキャスター。特集として取り上げる問題へのこだわり、持続を心がけている。
- ・本格的な中高年向け時代劇もつくっていただきたい。「水戸黄門」も単発でもいいんじゃないか。

以上